

男性WG

男女共同参画基本計画（第3次）に向けた論点について（案）

1. 男性参画の基本的な認識

少子高齢化、雇用・就業をめぐる変化、グローバル化など、社会経済状況が大きく変化し、生産年齢人口が減少する中、持続可能な社会を形成するためには、基盤となる人材の活用が不可欠であり、男性も女性も最大限の個性や能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現は喫緊の課題である。

また、介護問題、男性の長時間労働など男性に関わる問題に対応するためにも男性にとっての男女共同参画社会形成の意義と責任、家庭・地域への男性の参画がますます重要となっている。

女性が出産・育児を経て再就職、あるいは育休をとりつつ就業を継続し、女性の労働力率を高めるためには、男性の育児・介護等の家庭への参画が必要であり、暮らしやすい活力ある地域社会を形成する上でも、男性のワーク・ライフ・バランスを促進しつつ、男性の地域活動への参画が不可欠である。また、高齢化が進む中で、一人暮らし男性の孤独化を解消するためにも地域での結びつきが重要となっている。

2. 論点

◎家庭・地域への参画

- 男性が地域社会へ参画するための環境整備（ネットワーク、居場所づくり、実践的な活動等）
- 男性が育児・介護に参画するための環境整備（育休取得等）
- 高齢男性などの孤立や日常生活自立に対する支援
- ワーク・ライフ・バランスなど男性の働き方の見直し、家庭・地域への参画を支援

◎男性にとっての男女共同参画

- 固定的性別役割分担意識から脱却するための意識啓発
- 男性にとっての男女共同参画の意義をアピール（WLB、「男性が主に稼ぐべきもの」、「男性は弱音を吐いてはならない」といった男性役割のプレッシャー等）
- 健康、自殺、男性シングルなどの男性に関わる問題への対応
- 女性に対する暴力などに関する相談への対応

◎広報・啓発

- メディアが男女共同参画意識に与える影響への対応
- メディアへの働きかけ
- メディアや広告に対する戦略強化
- メディア・経営・業界関係者への働きかけ